

転倒災害防止対策の好事例集

彦根労働基準監督署管内では令和 7 年に休業 4 日以上の労働災害が 2 9 3 件（※）発生しました。

転倒災害は 2 9 3 件のうち 1 0 6 件と約 3 6 % を占め、事故の型別の分類で最も多く発生しており、業種に関係なく発生する傾向にあることから、優先して対策を講じる必要があります。

転倒災害の主要 3 要因は、「滑り」、「つまずき」、「踏み外し」ですが、その他にも人や物と接触しそうになって転倒するなど様々な発生状況が存在します。

本事例集には、彦根労働基準監督署管内の事業場における好取組を掲載しております。

転倒災害ゼロ職場の実現に向けて、本事例集を参考に転倒災害防止対策を推進していただきますようお願いいたします。

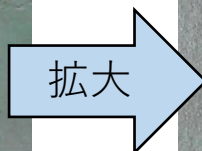
（※）新型コロナウイルス感染症り患を除く。
令和 8 年 1 月末現在。



滋賀労働局 彦根労働基準監督署

本好事例集に掲載する全ての写真、図、文章について、無断掲載や転用を禁止します。

滑り対策①



表面をざらざら加工

オレンジ線で区画した通路のこう配に防滑コーティング。

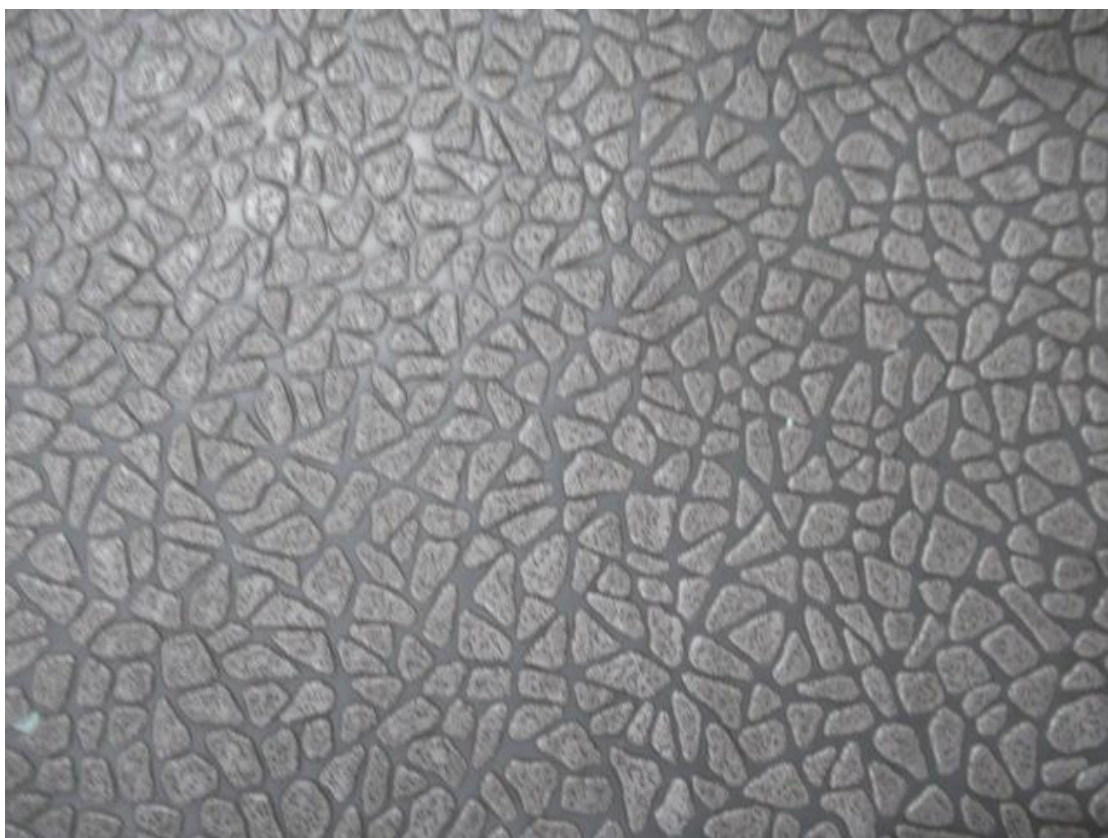


工場間通路に屋根を設け、雨や雪でグレーチング（格子状の蓋）が濡れないようにしている。

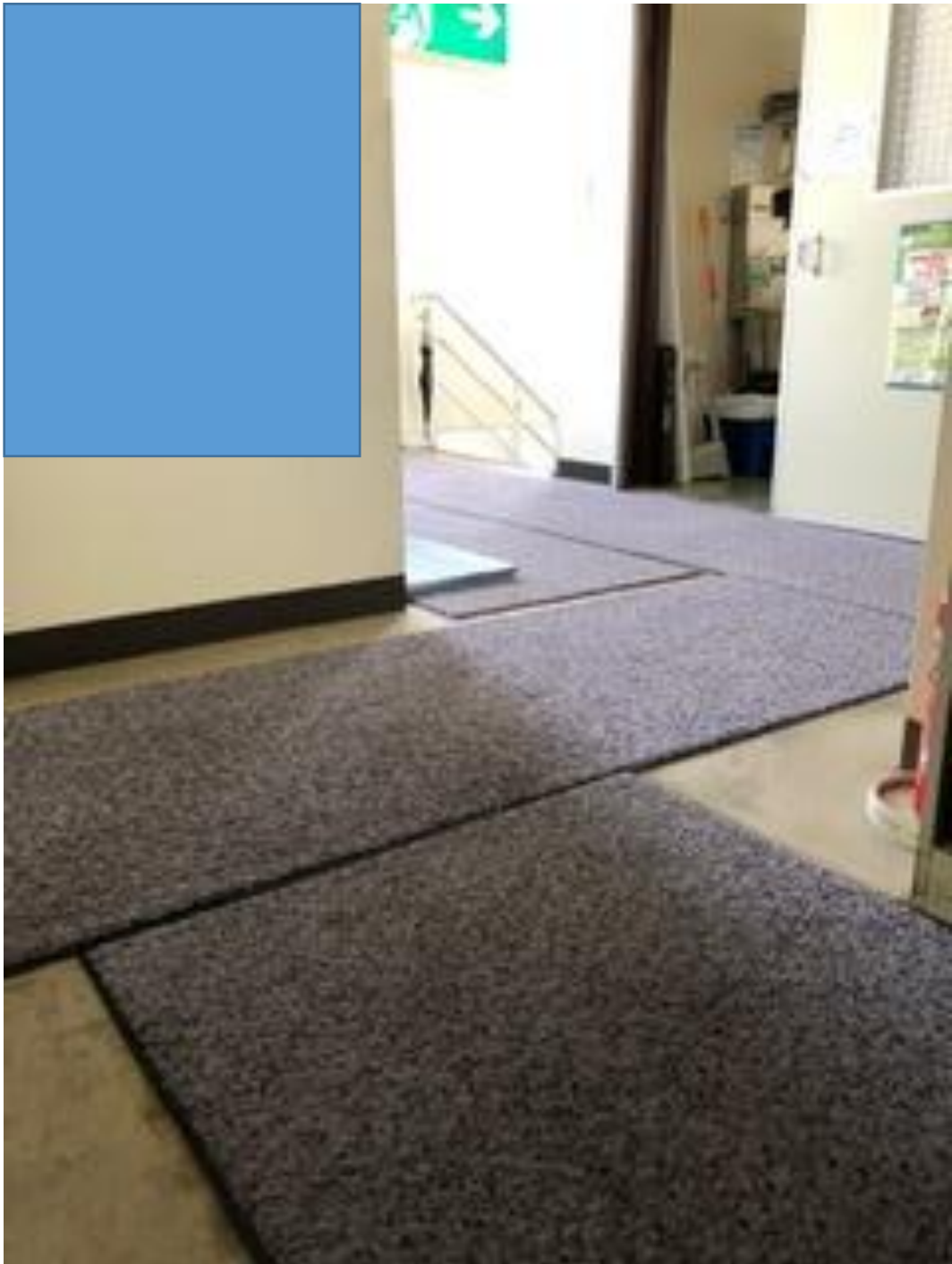
滑り対策②



出入口に滑り止めマット（黒色）を敷き、床面を加工（灰色）。



赤丸部分の拡大。靴裏面に摩擦を生じさせる。



事務所出入口に防滑マットを敷く。
事務所にタイムカードがあり、油や水を取り扱う労働者が作業長靴のまま通行する際のリスクに備える。

仕事前、仕事後 チェック

靴底減っていませんか？



靴底の凸部分が
すり減ったら交換！

3箇所のうち2箇所が減っていたらすぐに交換！
靴底のヘリは転倒の危険大！

ここもチェック！
靴底はきれいですか？
汚れはスベリの原因になります。
サイズは合っていますか？
大きすぎると靴底がすぐに減ります。

ケガをする前に交換してください。

Trước khi làm, sau khi làm Kiểm tra

Xem để giày có bị mòn hay không?



Phần đế giày có lõm các chỗ

Nếu mòn thì cần thay !

Trong 3 chỗ mà có 2 chỗ bị mòn thì hãy thay giày mới !
Giày mòn giảm bám dính rất dễ bị trượt ngã !

Kiểm tra thêm !
Đế giày có sạch không ?
Đế giày bẩn cũng rất dễ bị ngã.
Kích cỡ có vừa không ?
Giày to quá sẽ nhanh bị mòn.

Hãy thay giày trước khi bị ngã gây thương tích!

仕事前、仕事後 チェック

靴底減っていませんか？

3箇所のうち2箇所が減っていたらすぐに交換！
ケガをする前に交換してください。

Trước khi làm, sau khi làm Kiểm tra

Xem để giày có bị mòn hay không?

Trong 3 chỗ mà có 2 chỗ bị mòn thì hãy thay giày mới !
Hãy thay giày trước khi bị ngã gây thương tích!

ก่อนเริ่มงาน, หลังเลิกงาน เช็ค

พื้นรองเท้า สึกหรือยัง?

หากพื้นรองเท้าสึก 2 จุด จาก 3 จุด ให้เปลี่ยนทันที !
กรุณาเปลี่ยนก่อนเกิดการบาดเจ็บ



靴の交換基準を定め、労働者が点検する。
ベトナム語とタイ語を併記して、全労働者へ働きかける。

滑り対策⑤



長靴の靴底の減りが一目で確認できるよう靴底が見えるように保管している（例として来客用を撮影）。

滑り対策（冬季の転倒対策編）

令和5年1月
滋賀県内で
死亡事故発生！

STOP！冬季の転倒災害！ ～転倒危険場所等を知って、命を守る！～



冬季の転倒危険場所等の把握と転倒防止対策 編

天気予報のチェック→対策・事前の労働者への注意喚起を！

場所	<p>①駐車場と事業場までの通路 ②駐車場内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の融雪剤の散布 ・除雪→安全な通路の確保 ・凍結、転倒注意の表示の設置 <p>融雪剤 転倒注意</p>	<p>③玄関・出入口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滑り止めマット、足ふきマットの設置・増設 ・モップ・乾いたぞうきんの設置 <p>※水分！！＝都度ふき取り</p>	<p>④階段・スロープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪 ・転倒防止マットの設置 ・手すりを持つ <p>※スロープは滑りやすいため使用は最小限にする又は使用を避ける</p>
状況・環境	<p>⑤周囲が暗い（通勤時等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明の設置・点灯 ・照明時間の延長 ・ヘッドライトの使用 	<p>⑥除雪中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滑り止めのある長靴 ・ゴムバンド・スパイクの使用 ・（暗い場合は）ヘッドライトの使用 <p>※除雪した雪山 溶けだした水分が凍って転倒する危険がある →凍結・転倒注意の表示の設置を！</p>	<p>※その他</p> <p>各事業場での転倒危険場所を事前に確認・マップ作成 →「危険の見える化」 →労働者に周知、注意喚起！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンホール等金属製の物 ・日かげの場所 ・車止め等、雪で隠れてしまう物
人的要因	<p>⑦両手がふさがった状態 歩きスマホ・ポケットに手を入れる・手さげカバン等</p> <p>両手をあける！ （万が一転倒した際受け身を取れるように！）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩きスマホ禁止 ・手袋着用（ポケットに手を入れない） ・リュックや肩下げカバンの使用 	<p>⑧滑りやすい靴（革靴・パンプス等）</p> <p>「冬用の」耐滑性のある靴の着用 ※耐滑性の靴でも、「水・油用」「氷上用」「粉体上」それぞれ対策が異なります。 →「雪や氷」に対応する「冬用の」耐滑性のある靴を選びましょう！</p>	<p>⑨急いで焦って走る</p> <p>ペンギン歩き （冬季の転びにくい歩き方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな歩幅 ・靴裏全体をつけて ・急がず、焦らず、ゆっくりと

つまずき対策①



通路上の配管やコードをカバーで養生。



工場出入口の段差に「段差注意」の塗装（イラスト付き）。

つまずき対策②



段差をスロープで養生し、トラテープを貼り付け。



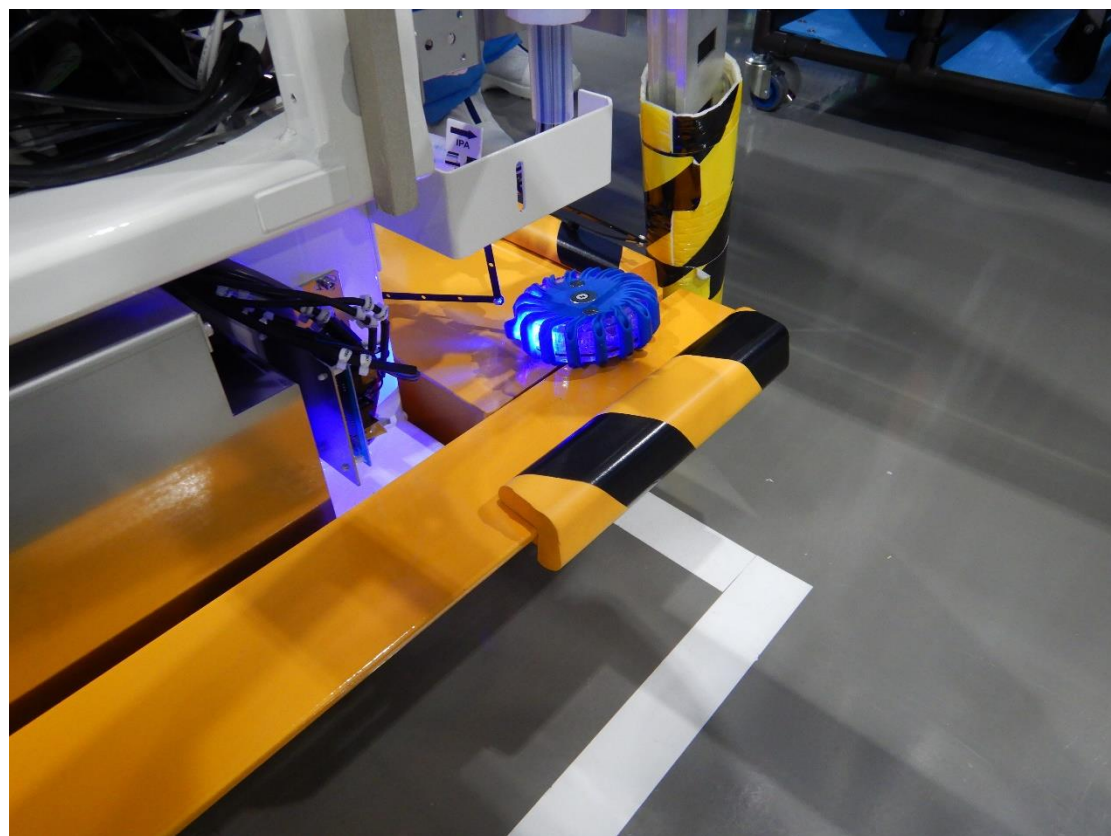
通路のこう配に段差注意の塗装。別途こう配基準を定めている。

つまずき対策③



台車の通路にマット（中央）を敷き、わずかな段差を解消。

マットは台車の車輪、靴裏の水等を吸着するため、滑り対策を兼ねる。



製造中の機械の隅部に発光器を置いて視覚に働きかける。

踏み外し対策①



階段の全ての段に滑り止めシートを貼り付け。



階段に転倒注意の掲示（階段上）。

階段に転倒注意の掲示（階段下）。

踏み外し対策②



階段の下から 1、2 段目端を黄色塗装。



2 段のステップに手すりを設け、視認しやすいように黄色塗装。

踏み外し対策③

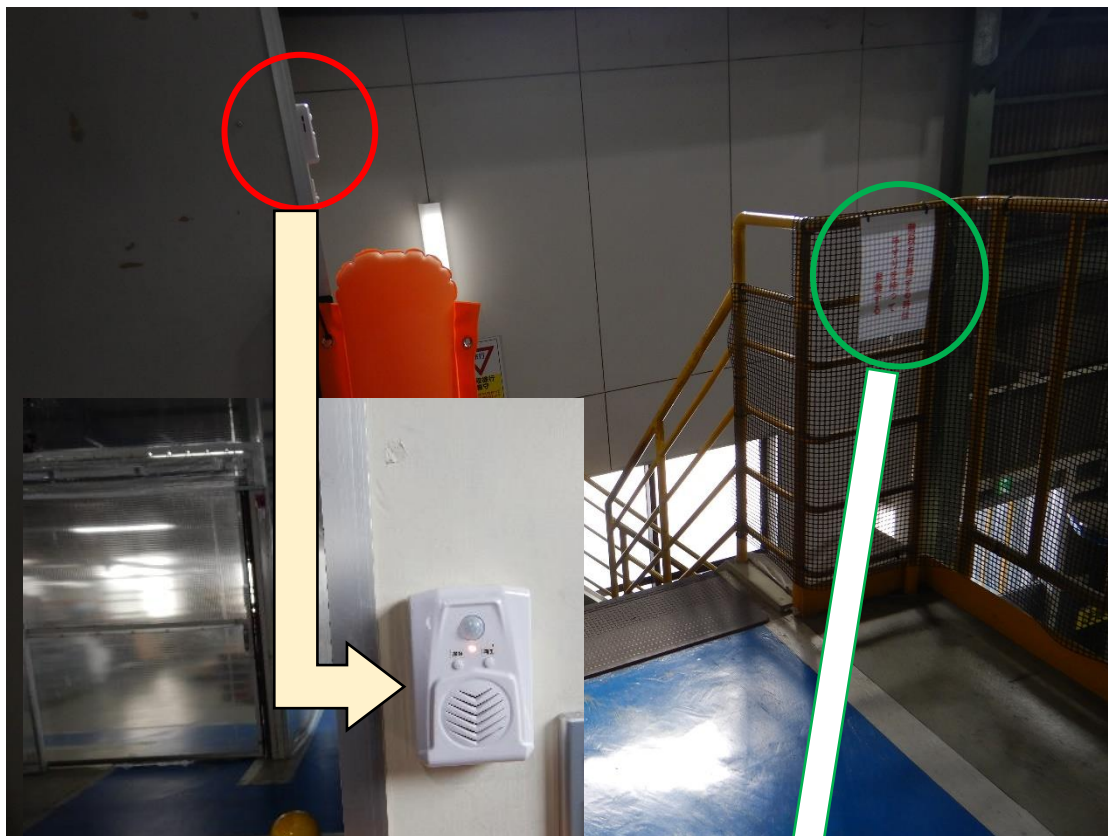


階段の全ての段の端を多色塗装。



手すりを持って右側通行のルールを明示。

踏み外し対策④



センサー（赤丸）が階段昇降時に手すりを持つようアナウンス。



アナウンスに加えて、階段昇降時に手すりを持つよう注意喚起。

踏み外し対策⑤



人感センサーが「昇降時は手摺りを握みましょう」のアナウンス。

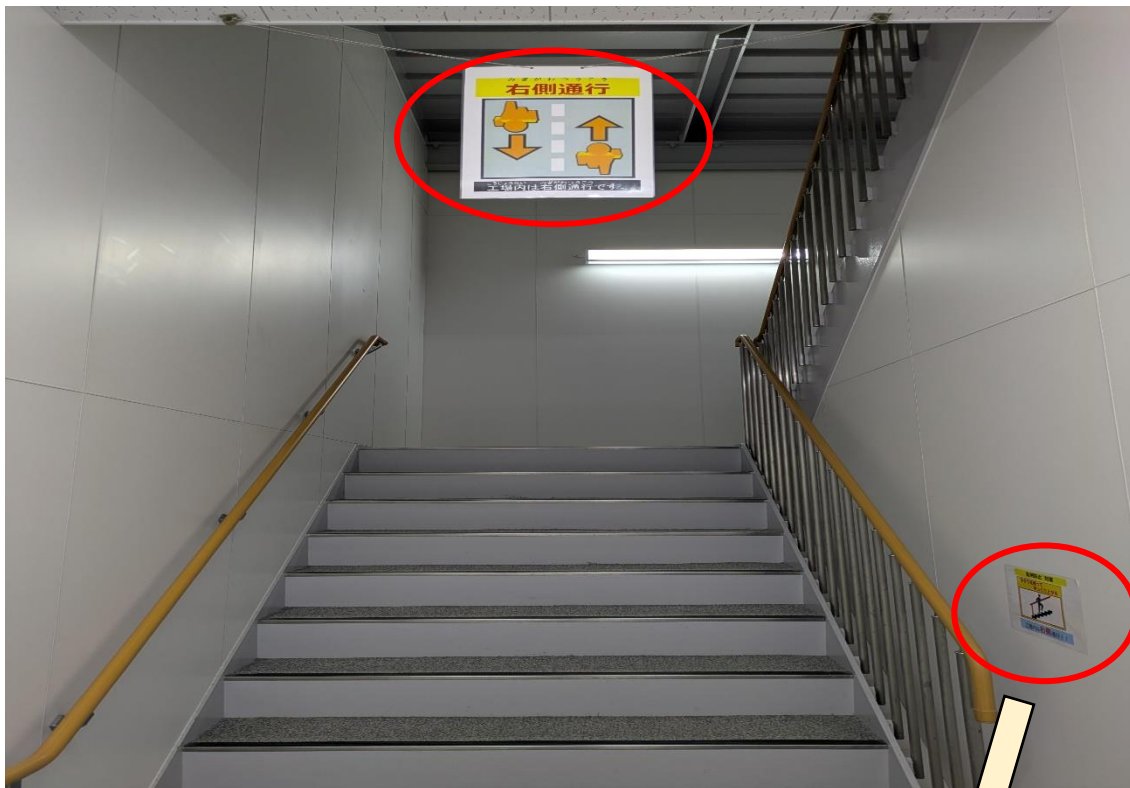


手摺りには「昇降時は手摺りを握もう」のテープを貼り付け。

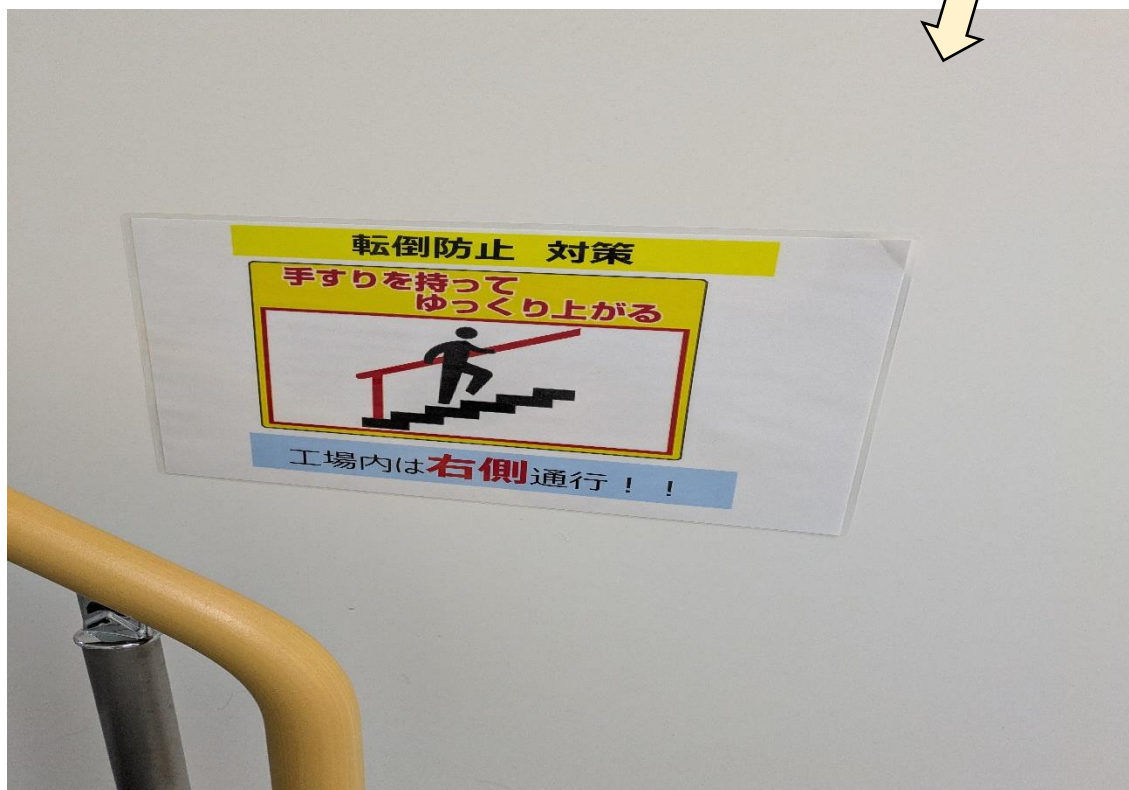


階段の全ての段の端を黄色塗装。
手すりに赤色テープを巻き、手すりを持って昇降するよう啓発（手すりは墜落防止のために3段構造）。

踏み外し対策⑦



階段の通行ルールについて表示（右側通行）。



手すりを持って通行するよう表示している。

踏み外し対策⑧



両側に手すりを設けており、階段の通行ルールを定めている。



手すりを持って通行するよう表示している。

その他の対策①



事務所出入口のドアを片方（右側）に限定。



拡大

「開閉はこちらから」のシールを貼り付け。



事務所、工場間の横断歩道。



拡大

「指差呼称」、「とまれ」の表示。

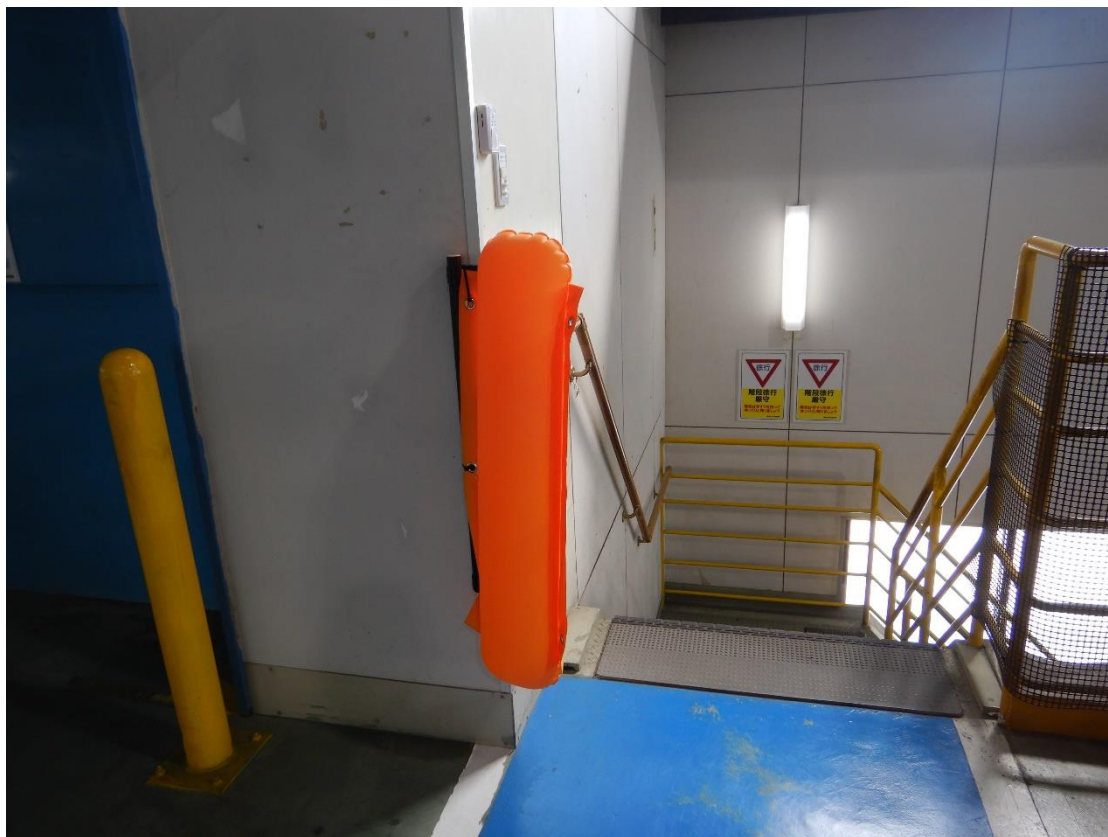


「ドアが開く！」の注意喚起掲示。

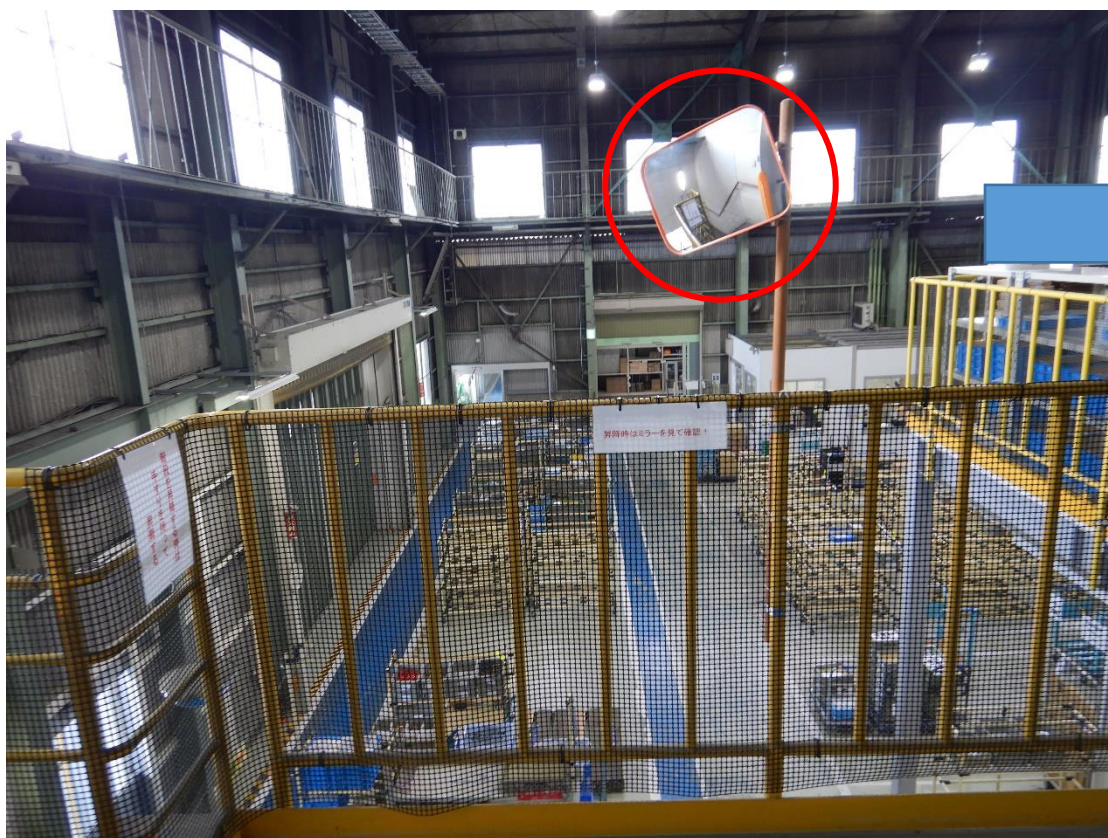


左写真の逆側に同様の掲示。

その他の対策②

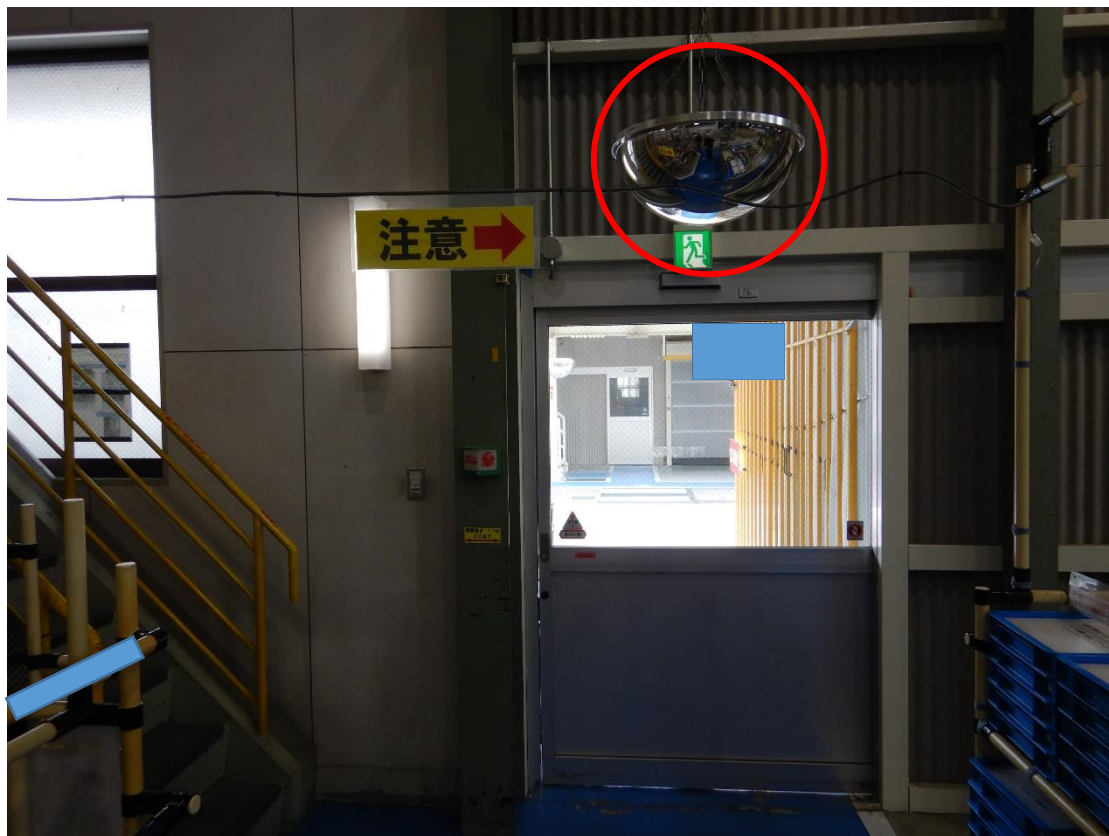


階段最上段のコーナーに緩衝材を設置。

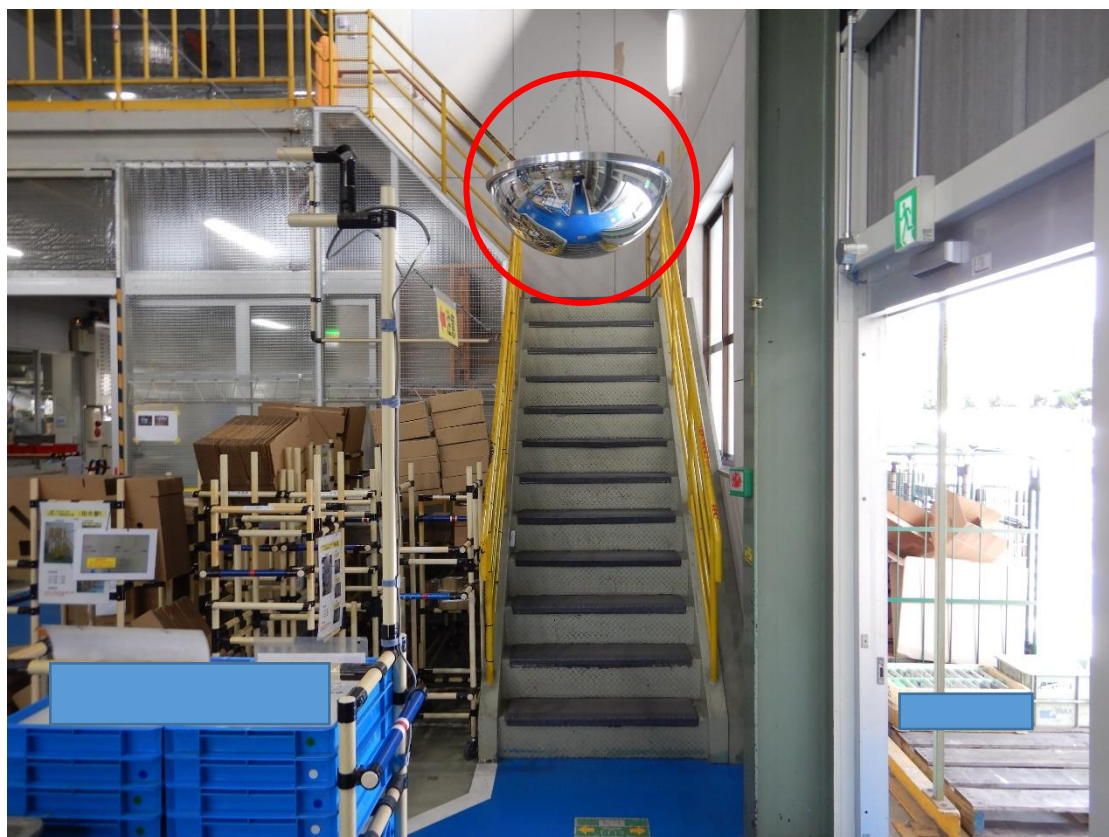


階段手前のミラーで階段に人がいるかを確認することができる。

その他の対策③



半球型のミラーで広範囲を視認できる。



上写真右側から撮影。ミラーには青色の安全通路が映る。

その他の対策④



工場内のコーナー部分にカーブミラーを設置している。

その他の対策⑤



センサー（赤囲い）が感知すると赤色灯が点灯。



上写真奥側のセンサー（赤囲い）。工場内にもセンサーあり。

その他の対策⑥



前頁の工場内センサー。屋外センサー感知時に赤色灯が点灯。



「衝突注意」等の掲示。センサー（赤囲い）が感知して点灯。

その他の対策⑦



ドアの両側にセンサーを取り付け。
感知すると点灯。開閉注意の掲示。



通路のＬ字コーナーにミラー
を設置。

安全＋第一



安全第一



その他の対策⑧



（右写真）建屋内の階段を降りた位置 A から死角を見ることができるようにミラーを設置。



（左写真）Aからは死角を確認することができない。

その他の対策⑨



人が近づくと赤く光って出会い頭の衝突を防止する。



床に中央線、右側通行の矢印を明示。

お知らせ

右の標語は、令和7年12月に「危険感受性をみかく」と題した彦根労働基準監督署の出前授業を受講した、彦根工業高校の生徒の皆さんから募集したスローガンから選定したものです。

スローガンのポスターと本事例集は彦根労働基準監督署で配布しています。

本事例集は滋賀労働局ホームページにも掲載しています（下記QRコード）。



彦根工業高校3年生が考えた

労働安全スローガン



感電死 したくなければ 確認だ

電気科

落ちついて！どんな時も 命優先！

建設科

とりあえず 相談しよう 困ったら

機械科

働く人がいるから

気をつけて作業してくれるから
会社が成りたつんだよ

建設科